

令和6年度 新見市公募型鉄道利用促進事業 事業一覧表

No	団体	実施事業名	事業内容(概要)	委託予定額	審査選考結果
1	新見市哲西牧水顕彰会 (会長 安達 悦久)	「牧水が愛した阿哲路」再発見プロジェクト (募集テーマ1：市民の鉄道利用を促進する取り組み)	【目的】 歌聖「若山牧水」の不朽の名歌「幾山河」が生まれた阿哲路は現在の芸備線に沿って備後国に延びる路である。明治の時代若き牧水はこの路を旅し、どのような景色を観てこの歌の発想を得たのかを現代のわれわれが芸備線というツールを介して探るとともにその景観の中にある芸備線を後世に残していきたい。 【事業内容】 芸備線を利用して歌碑祭、文化講演会及び牧水公園への誘客を行う。 また、芸備線に乗り、新見⇒野馳(往復)間の風景を観察し牧水の「海の声」「別離」で牧水が愛した阿哲路を辿るプチ鉄道旅を2回開催し牧水顕彰会会員が同乗して解説も付け加える。	500,000円	採択
2	一般社団法人 新見市観光協会 (会長 井上 富男)	芸備線を走る観光列車プロジェクト (募集テーマ2：市外から利用者を呼び込む取り組み)	【目的】 地域住民にとって重要な公共交通機関であるJR芸備線、姫新線は、全国のJR赤字対象路線として存続の危機の対象となっております。その中で新規の利用者の需要を掘り起こすことで、各路線の将来に渡っての維持継続を目指します。 【事業内容】 JRの団体貸切車両を観光車両として運行を依頼。 新見駅～備後落合駅間の各駅で停車し、駅舎の撮影時間を提供できる「芸備線駅舎ツアー」を企画・実施する。 ツアー実施中、貸切観光列車内で新見市特産品の販売や紹介をあわせて実施する。また、鉄道ファンに向けたマナーやモラルの案内やJR関連グッズ(新見市に関連したもの)の販売も実施する。	500,000円	採択